



大和ハウス工業株式会社
北海道支店 支店長

新谷 聡
Satoru Araya

皆さまこんにちは。大和ハウス工業株式会社北海道支店支店長の新谷聡と申します。

平素よりTKC北海道会の皆さまには弊社事業活動にご支援、ご協力いただきありがとうございます。たく存じます。

また、令和3年に着任して4年が経過しており、誌面でのごあいさつが遅くなりましたこと、誠に心苦しく存じます。*

私の略歴ですが、昭和42年生、札幌生まれ札幌育ち生粋の道産子でございます。

大和ハウスには平成3年のバブル期入社で札幌支店建築営業所配属となりました。

入社当時は大谷地事務所で、まだ北海道経済も余力があり支店の雰囲気も明るく穏やかな印象でしたが、その後はバブル崩壊から拓銀破綻となり皆さまもご承知の通り、非常に厳しい経済環境が長く続くこととなりました。

そのような中、私は平成17年まで勤務していた北海道を離れ岩手支店建築営業所へ転勤となりその後、福島支社、仙台支社を経て令和3年に北海道へ戻ってまいりました。

現在では、弊社の北海道内における事業

領域も多岐にわたり、ビジネスモデルも建設業から不動産デベロッパーとして成長しているところでございますが、会社の源流と理念は工業化建築でありプレハブです。

創業者が昭和30年に大阪で事業を立ち上げ東京に進出後、名古屋より先に札幌に進出したのは北海道の持つポテンシャルと無限の可能性があったからではないかと思えます。

今でも、地方郡部に立っているプレハブ公民館や単位農協倉庫群の中に立っているエンターローリー、札幌市内にもまだ現存している歩道橋などを見るたび、先輩たちの弛まぬ努力とフロンティアスピリッツに感謝と敬服の念に堪えません。

弊社は今年で創業70周年を迎えますが、これからも私たち現役世代が先輩たちのフロンティアスピリッツを伝承し、決して驕ることなく事業を推進していく所存ですので、これからも引き続きのご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、TKC北海道会のますますのご発展と会員の皆さまのご多幸をご祈念申し上げましてごあいさつとさせていただきます。

※こんなに遅くなってしまったのは、わたくしの不徳のいたすところです。(広報委員長)